

薩長同盟150年記念

薩長同盟と小松帯刀



小松帯刀(尚古集成館所蔵)

日 時:平成28(2016)年1月17日(日) 13:30~16:30
会 場:日置市伊集院文化会館 **参加費:**無料
定 員:1100名(予約不要、当日先着)

13:30~13:35	開会あいさつ・講演者紹介	15:00~16:25	トークセッション
13:35~14:30	桐野作人氏講演会		町田明広氏・荒田邦子氏・桐野作人氏
14:30~14:40	小休止	16:25~16:30	閉会あいさつ
14:40~15:00	吉利南区太鼓踊り披露		(司会・トークセッション進行:中村朋美氏)

主催 日置市教育委員会

お問い合わせ先 099-248-9432 (社会教育課文化係)

慶応2(1866)年1月21日、薩長同盟が締結されました。敵対関係にあった薩摩と長州の両藩が手を携えたことによって、新時代への第一歩が刻まれたのです。この時、薩摩藩を牽引した人物が日置市ゆかりの家老・小松帯刀でした。

平成28(2016)年は薩長同盟の締結150年にあたります。県内の他に先がけて薩長同盟に関する講演会およびトークセッションを催すことで、多くの方々に幕末の薩摩の歴史と小松帯刀を知っていただき、彼のおひざもとである日置市の歴史・文化に光をあてることを目的とします。



○吉利南区太鼓踊り

小松帯刀のおひざもと・吉利では、毎年8月23日、南方神社に太鼓踊りを奉納しています。江戸時代から続くといわれるこの踊りのうち、もっとも勇壮な吉利南区のものをご堪能いただきます。

○桐野作人氏(歴史作家)

立命館大学文学部卒業、武蔵野大学政治経済研究所客員研究員。薩摩島津氏を中心に戦国・幕末に関する専門書・小説を執筆する。南日本新聞で「さつま人国誌」を連載中。著書に『さつま人国誌 幕末・明治編』(南日本新聞社)、『関ヶ原島津退き口 敵中突破300里』(学研新書)、『島津義久 九州全土を席卷した智将』(PHP新書)など。



○町田明広氏(神田外語大学専任講師)

佛教大学文学研究科博士後期課程修了、博士。日本近現代史(明治維新史・対外認識論)研究を行い、島津久光を中心とした幕末薩摩藩の政治動向に関して学界を牽引する。著書は『幕末文久期の国家政略と薩摩藩—島津久光と皇政回復』(岩田書院)、『島津久光=幕末政治の焦点』(講談社選書メチエ)、『攘夷の幕末史』(講談社現代新書)、『グローバル幕末史』(草思社)。



○荒田邦子氏(鹿児島純心大学非常勤講師)

『鹿児島県史料 玉里島津家史料』編集委員や宮之城歴史資料センター学芸員などを歴任。鹿児島の近代史を中心に研究を行う。日置市内小中学生向けの小冊子『小松帯刀』を執筆。他の著書に『新薩摩学』シリーズ(南方新社)、『光芒の大正』(思文閣出版)(いずれも共著)。



○中村朋美氏(フリーアナウンサー・鹿児島大学非常勤講師)

1969年鹿児島県出身。KTS鹿児島テレビ放送で夕方顔として活躍後フリーとなり、「office中村朋美」を設立。鹿児島を拠点に司会・アナウンスをはじめ、観光・医療・食等のフォーラムパネリストやコーディネートをを行う。コミュニケーション力やビジネスマナーについての企業・病院研修講師等。



「薩長同盟と小松帯刀」聴講つきバスツアー

案内人／岩川拓夫(日置市教育委員会)

ゲスト／桐野作人氏・町田明広氏・荒田邦子氏

参加費／2,500円(昼食付)

定員／40名(応募者多数の場合、抽選)

申込締切／平成27年12月25日(必着)

申込方法／往復はがきに「お名前・ご住所・お電話番号」をご記入の上、

日置市教育委員会社会教育課 薩長同盟バスツアー係 までお申し込みください。

●スケジュール

9:00 鹿児島中央駅出発 ～ 徳重神社 ～ 吉利小学校(御飯屋跡) ～ 鬼丸神社 ～ 吉利神社 ～ 園林寺跡 ～ (昼食) ～ 13:30 「薩長同盟と小松帯刀」聴講 16:30～ 17:30 鹿児島中央駅到着

※天候等の事情で内容が変更されることもあります。あらかじめご了承ください。

鹿児島県知事登録旅行業協会正会員 有限会社トラベル・ひまわり 〒899-2504 日置市伊集院町郡2261番地3 TEL:099-273-0123



バスツアー申込先／〒899-2592 鹿児島県日置市伊集院町郡一丁目100番地
日置市教育委員会社会教育課 TEL099-248-9432